# 令和 6年度　やよいの里　事業報告書

**事業概要**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所名 | 小規模多機能型居宅介護事業所　やよいの里 | | |
| 所 在 地 | 福井市加茂緑苑町402番地 | | |
| 種　　別 | 指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業 | | |
| 経営主体 | 社会福祉法人　弥生福祉会 | | |
| 事業開始年月日 | 平成　23　年　4　月　1　日 | | |
| 利用登録定員 | 25人 | 月間登録平均人員 | 22.5人 |
| 通い平均利用人員 | 8.62人 | 訪問平均利用人員 | 5.82人 |
| 宿泊延べ利用人員 | 2人 | | |

事業運営実施概要

利用者層は独居の利用者が多い。家族や医療機関、訪問看護、行政や包括支援センターとの連携に努めている。健康面では異常の早期発見・対応を図れるように体調管理に努めるとともに、日常の生活を支える支援を行っている。

利用者に対する感染症への対応は今まで通り継続。感染対策を行いながら、サービス提供を行った。感染予防としては、職員へのマスク・アルコール消毒による感染予防の徹底や、利用者・家族への感染予防の啓発を行った。

地域密着型サービスの事業所として地域活動への積極的な参加に努めるようにしており、自治会の清掃活動に参加した。地域の中学生の職場体験を受け入れ、よい経験ができたとの言葉をいただいた。利用者の送迎時や訪問の際に、地域の方と積極的に会話をし情報を得るようにしている。

また、自治会との協力体制の基盤作りとして、運営推進委員会を対面で開催し地域との情報共有など助言頂いた。地域における福祉避難所としての役割りや大雪や水害などの災害時の連携の必要性、事業継続など今後の課題に取り組んでいる。

今後も認知症を有する独居高齢者が増えると見込まれるので、職員は自己研鑽に励み、適切なサービス提供が行えるよう努めていく。また、地域の方や民生委員の方との連携を深めると共に、防災や認知症予防について地域との連携に引き続き取り組んでいく。

運営推進会議や外部評価で得られた意見を職員全体で共有し、事業所の質の向上のために活用していく。自宅での生活が難しくなり、施設入居に至る利用者もいるが、できるだけ地域の中で生活が継続できるよう、小規模多機能型居宅介護事業所で出来ることを、まず取り組んでいけるよう職員全体で考え実践をしていく。